

新退教通信

No.190

2023.7.1

新 退 教 員 連 絡 協 議 会
〒025-281-8146

「温故知新」 知れば識るほど



新退教会長

大 坂 和 夫

新退教は、今年2月10日で結成50周年を迎え、9月25日には「新退教結成50周年記念式典」を行います。この周年行事とともに「記念誌」を發刊します。

さて、新退教のあゆみを紐解き、振り返ってみますと、時々の先達の思いが伝わってきます。特に結成時の苦労は並大抵ではなかったことが窺われます。

日教組は、1970年の定期大会で退職教職員の組織化を決定し、71年には第1回結成準備会が開かれました。当時は高度経済成長期でしたが、退職者の生活はインフレで厳しく、恩給・年金が目減りし、生活防衛に迫られていました。現職教職員にとっても退職後

の生活安定の意味でも年金の物価スライド制が、現退一致した課題でした。

日教組の全国的な指示のもと、新退教の母体である新教組の本部・支部の物心両面支援等により、1973年に新退教は5支部323人で結成されました。県内の全支部を結集できたのは何と1994年でした。現在、14支部1919人の組織です。この間、退職教職員の生活と権利を守り、社会保障を発展・向上させ、会員間の親睦を図り、あわせて現職教職員とともに平和と民主主義を守り、民主教育の推進に努めることを目的に活動を行ってきました。新退教は、新教組とともに、退職教職員の大切な組織です。

新退教結成当時の黎明期には、第4次中東戦争勃発による激しい物価上昇、インフレが起きました。今、ロシアによるウクライナへの全面的な軍事侵攻は、大幅な円安による急激な物価高騰を招き、新型ウイルス禍で拡大した経済・生活の格差を更に拡大しました。その影響は、私たち年金生活者に大きな影響を与えています。特に、人生百年と言われてる現在、社会保障関連予算等の削減や医療・介護などの改悪等新たな負担増は、生存権を脅かすもので絶対に認めることができません。平和なくして社会保障の充実はありません。今こそ、平和を求める運動を新教組とともに取り組んでいきましょう。

目次

(敬称略)

1p	巻頭言	会 長	大坂 和夫
2p	退任	前副会長	北島 理子
3p	新任	前副会長	小池 洋
3p	新任	新副会長	神田 久子
3p	新任	新副会長	吉田 教悟
6p	支部より	新潟支部	福地 光生
6p	支部より	糸魚川支部	松田 敬
6p	支部より	柏刈支部	遠藤美代志
8p	みんなの広場	山上オクラ	今井 真悟
8p	みんなの広場		佐久間節子



写真「八海山を背に」
若山 文雄さん (南魚支部)

50周年記念「新退教総会」

—新しい門出をするものには
新しい道が開ける—

5月26日(金)、新教
組会館にて4年ぶりに通
常規模の新退教総会を開
催することができた。

議長に南魚支部の小野
塚正春さんを選出して進
められ、報告事項・活動
方針・役員選出など原案
通り承認された



〔「来賓」〕

新教組	委員長	今井 淳様
県退職者連合	会長	山田 太郎様
退女教	副会長	土田志津子様
高校退職者の会	会長	木村 昭雄様
教職員共済	所長	坂詰 浩一様
教職員厚生財団	理事長	坂井 育男様
学協	専務理事	新井 秀和様
新潟県労働金庫	常務理事	村山 義則様

〔役員選出〕 3-4p参照

役員選考委員長の松村久夫さん(上越支部)から提案が行われ、次期本部役員が選出された。次に、大坂和夫会長(新潟支部)から顧問と県幹事8人が委嘱された。

〔会計報告〕 4p参照

新型ウイルス禍による中止は北プロのみで、概ね順調に執行できた。経費節約に努めた。

〔活動方針の重点〕

- ① 本年の50周年記念事業を成功させ、新たな出発の機会とする。
- ② 新型ウイルス禍が収束しつつある中、慎重に諸活動を再開するとともに、「新退教結成50周年」を機に、一層の工夫・改善・見直しを図る。
 - a 可能な限り、以前の活動に戻す。
 - b 活動やたよりの一層の工夫を図る。
 - c 「現退一致の方針」のもと改善を図る。
 - d 本部事務局を強化する。(女性幹事等)
- ③ 定年退職者がいない最初の年度となり、今後さらに新加入が難しくなると思われるが、明るく楽しく加入促進活動に取り組む、一層の工夫・改善を図る。

〔事業計画〕 3p参照

9月25日(月)に「新退教結成50周年記念式典・祝賀会」を行い、11月に「50周年記念誌」を発刊する。記念誌は支部を通して全会員に届けられる。

〔予算〕 5p参照

50周年記念事業の不測事態にも対応できるように予備費を多めに確保した。会員減による収入減に備え、引き続き経費節約に努める。

新たな出会いと学びに感謝



前副会長
北島 理子
(上越支部)

6年間、大変お世話になりました。新型ウイルスもあり、皆様との交流は少なかったのですが、私にとっては大きな学びの機会でした。2年目からは、父の介護、自分の胃癌発見入院手術、そして99歳の父の看取りと続きました。その都度かけて頂いた先輩会員の言葉の数々を今も忘れることはありません。新退教での出会いが、今後も私の宝です。

退任のあいさつ

お世話になりました



前副会長
小池 洋
(上越支部)

新型ウイルスの2年間でしたが、副会長を務めさせていただきました。健康管理不行き届きもあり、体調もすぐれないため我儘を言って退任させていただきました。
本部で新退教が抱える各支部の課題をお聞きする機会もありましたので、今後の支部活動に生かせるように努力していきたいと思っています。共に頑張りましょう。



新退教 2023行事等予定

- 4/12 (水) ①本部事務局会
- 4/19 (水) 会計監査
- 5/26 (金) 新退教総会 [原則 第4金曜]
- 7/1 (土) 新退教通信190号発行
- 7/26 (水) ②本部事務局会
- 8/28 (月) 第4回50周年実行委員会
- 9/25 (月) 新退教結成50周年記念式典・祝賀会
- 10/12 (木) 五者合同学習会 (東京)
(注) 五者=日教組、日退教、全国退女教、教職員共済、教職員相互共済
- 10/13 (金) 日退教組織活動交流集会 (東京)
- 11/10 (金) ③本部事務局会
- 12/1 (金) 新退教通信191号発行
- 12/11 (月) 支部代表者会&現退役員交流会
- 1/上旬 新退教通信「加入案内号」発行
- 2/上旬 ④本部事務局会、教職員共済説明会
- 3/1 (金) 新退教通信192号発行
- 3/13 (水) 支部事務局長会
- 4/22 (土) 新教組主催「退職教職員慰労激励会」
- 6/9 (金) 日退教定期大会 (日本教育会館)
- 6/10 (土) 新教組定期大会
- 6/14、15 (水木) 北陸ブロック総会 (富山県)
- 7/26 (水) 新退連定期大会 (東映ホテル)
 〃 30周年記念祝賀会
- 9/19 (火) 日本退職者連合「高齢者集会」&日退教
 「女性参加者の集い」(東京)
- 9/20 (水) 日退教「政治学習会」&地公三単産・
 地公退「高齢者集会」(東京)
- 1/13 (土) 新教組旗開き



本部事務局主催 <新退教ことぶき講座>

◇14:00~16:00 新教組会館 申込5日前まで

- 5/17 (水) 書こう・書き足そう エンディング・ノート
- 7/12 (水) 書こう 投書文
- 9/6 (水) 知ろう 囲碁・将棋・麻雀のルール
- 11/17 (金) 読もう 子どもの本&シルバーの本
- 2/14 (水) 申告しよう 確定申告、市・県民税
- 3/18 (月) 書こう 4コマ漫画



新任のあいさつ

よろしくお願ひします



新副会長
神田 久子
(新潟五泉支部)

新退教50周年の年に副会長をさせていただくことになりました。私自身、入会以来、先輩方々のお姿に接して、年を重ねることの豊かさ、楽しさを感じてまいりました。これからは皆さまに入会してよかったと思っただけできるよう、力不足ではありますが、自分なりにできることを考えていきたいと思ひます。

お手伝ひします



新副会長
吉田 教悟
(柏崎刈羽支部)

この度、縁ありまして副会長に就任する事になりました。柏崎の山寺の住職です。ここ3年程、新型コロナウイルスに翻弄され、新退教の活動は制限され、また、新加入者の減少等多くの課題も見えてきました。そんな中、今年50周年の式典も予定されています。原点に戻り、生活と平和を守り、明るく楽しい新退教活動のお手伝ひをいたします。

2022年度 会計報告

収入の部

(決算減△)

項	目	予 算	決 算	増 減	適 用
1	繰越金	1,277,030	1,277,030	0	前年度より繰越
2	会費	1,900,000	1,941,000	41,000	1,000円×1941人(会員1919人+読者会員22人)
3	助成金	700,000	700,000	0	新教組より
4	預金利息	10	11	1	利子
5	雑収入	100,000	151,400	51,400	補助10万、祝儀1万、北プロ3万 他
6	計	3,977,040	4,069,441	92,401	

支出の部

(決算増▲)

項	目	予 算	決 算	増 減	適 用
会議費	1 総会	250,000	85,222	164,778	5月
	2 支部代表者会	90,000	56,978	33,022	12月
	3 支部事務局長会	0	0	0	
	4 北プロ会議	120,000	0	120,000	総会、代表者会 双方中止
	5 特設委員会	30,000	0	30,000	役員選考委員会
	6 事務局会	140,000	65,212	74,788	事務局会、事務局各部会
事業費	7 情宣費	270,000	266,804	3,196	新退教通信、加入案内号
	8 行事・研修・調査	400,000	159,011	240,989	学びの集い
	9 記念事業	0	0	0	(50周年記念事業は別会計)
事務費	10 通信費	120,000	112,487	7,513	運送代、切手・はがき、電話代
	11 備品・消耗費	35,000	32,636	2,364	パソコンインク代、事務用品
	12 各種旅費	150,000	61,320	88,680	支部総会派遣、事務局、諸会議
	13 雑費	100,000	36,112	63,888	支部総会祝儀、香典 等
	14 事務局活動費	700,000	700,000	0	事務局活動
	15 事務局備品購入費	0	0	0	
その他	16 分担金	400,000	364,544	35,456	日退散264,544、新退連100,000
	17 支部活動補助費	340,000	328,756	11,244	14支部へ(前年度納入金×0.16)
	18 積立金	700,000	700,000	0	50周年積立
	19 予備費	132,040	62,400	69,640	パソコン62400
20	その他	0	0	0	
合	計	3,977,040	3,031,482	945,558	

残高の部 4,069,441 (収入決算) - 3,031,482 (支出決算) = 1,037,959 (残金)

2023年度 本部役員

役 名	氏 名	備 考
会 長	大 坂 和 夫	新潟支部
副 会 長	小 幡 晴 美	小千谷魚沼支部
	神 田 久 子	新潟五泉支部
	吉 田 教 悟	柏刈支部
	米 山 忠 彦	長岡支部
	今 井 淳	新教組委員長
事務局 長	山 岸 修	新潟支部
事務局 次長	佐 藤 俊 介	新教組書記長
県 幹 事	新 井 秀 和	新潟五泉支部
	坂 詰 浩 一	上越支部
	里 村 俊 夫	西蒲・燕支部
	篠 沢 講	〃
	須 貝 育 子	北新支部
	本 間 満	新潟支部
	松 葉 俊 枝	〃
顧問	長谷川 亜 耶	新教組執行委員
会計 監 査	幸 田 越 夫	西蒲・燕支部
	土 田 博	三南支部
	中 川 清	西蒲・燕支部
	日退教北陸ブロック 副会長	大坂 和夫
	新潟県退職者連合 幹事	大坂 和夫
	〃 幹事	神田 久子

特別会計 I (50周年会計)

2021年度末	1,662,713	
2022年度積立	700,000	
賛助会より	40,000	
利子	16	
支出 実行委員会	-106,917	旅費
2022年度末現在高	2,295,812	

特別会計 II (災害基金)

2021年度末	2,591,486	
2022年度義援金	224,187	会員、日退教
支出 見舞金	-224,000	県北豪雨
利子	22	
2022年度末現在高	2,591,695	

特別会計 III (賛助会)

2021年度末	1,770	
2022年度会費	76,000	1000円×76人
支出 通信費	-16,940	
〃 旅費	-7,500	
〃 補助 1	-12,500	支部へ
〃 補助 2	-40,000	50周年積立へ
2022年度末現在高	830	

2023年度 予 算

収入の部

(昨年度比減▲)

項 目	本年度予算	昨年度予算	増 減	適 用
1 繰 越 金	1,037,959	1,277,030	▲239,071	前年度より繰越
2 会 費	1,800,000	1,900,000	▲100,000	1,000円×1,800人
3 助 成 金	700,000	700,000	0	新教組より
4 預 金 利 子	11	10	1	利子
5 雑 収 入	30,000	100,000	▲70,000	総会祝儀 (「学びの集い」無 = 補助0)
6 計	3,567,970	3,977,040	▲409,070	

支出の部

(昨年度比減▲)

項 目	本年度予算	昨年度予算	増 減	適 用	
会 議 費	1 総 会	250,000	250,000	0	5月
	2 支部代表者会	90,000	90,000	0	12月
	3 支部事務局長会	30,000	0	30,000	3月 (例年並みに復活)
	4 北プロ会議	120,000	120,000	0	北プロ総会、代表者会
	5 特設委員会	0	30,000	▲30,000	(本部役員選考年度でない)
	6 事務局会	140,000	140,000	0	事務局会、事務局各部会
事業費	7 情 宣 費	270,000	270,000	0	新退教通信、加入案内号
	8 行事・研修・調査	0	400,000	▲400,000	学びの集い無し(50周年記念事業のため)
	9 記念事業	0	0	0	(50周年記念事業は別会計)
事務費	10 通 信 費	120,000	120,000	0	運送代、切手・はがき、電話代
	11 備品・消耗費	35,000	35,000	0	パソコンインク代、事務用品
	12 各種旅費	150,000	150,000	0	支部総会派遣、事務局、諸会議
	13 雑 費	100,000	100,000	0	支部総会祝儀、香典 等
	14 事務局活動費	700,000	700,000	0	事務局活動費
その他	15 事務局備品購入費	0	0	0	
	16 分 担 金	370,000	400,000	▲30,000	日退教、新潟県退職者連合
	17 支部活動補助費	310,000	340,000	▲30,000	前年度納入金×0.16
	18 積 立 金	400,000	700,000	▲300,000	50周年積立(記念誌代・予備費を補充)
	19 予 備 費	482,970	132,040	350,930	(次年度以降の収入減に備える)
20 そ の 他		0	0		
合 計	3,567,970	3,977,040	▲409,070		

2023年度 新退教 各支部事務所

	支部	〒	支 部 事 務 所	事務所Tel	支部長	事務局長
1	新 潟	951-8122	新潟市中央区旭町通1-86-1	025-222-9839	藤村 修	山岸 修
2	長 岡	940-0048	長岡市台町2-9-13 新学協中越出張所内	0258-35-2854	倉田七太郎	諏訪部寛栄
3	三 南	955-0046	三条市興野3-1-9 教育文化会館内	0256-33-2347	土田 博	宮島 敏明
4	柏 刈	945-0055	柏崎市駅前2-2-18-202 サンライズビル3F	0257-23-2862	吉田 教悟	小林 公一
5	北 新	957-0016	新発田市豊町1-2-13 下越支部会館内	0254-22・2065	森 弘志	古田セツ子
6	新潟五泉	956-0861	新潟市秋葉区北上3-8-21	0250-23-3279	佐々木 均	新井 秀和
7	西蒲・燕	959-0134	燕市真木山251	0256-98-2589	遠藤 昇	原田 完二
8	北 魚	949-7302	南魚沼市浦佐895-3 魚沼支部会館内	025-788-1101	小林 謙一	青柳 義昭
9	南 魚	949-7302	南魚沼市浦佐895-3 魚沼支部会館内	025-788-1101	小野塚正春	庭野 和也
10	中 魚	942-1526	十日町市松代3514	025-597-3546	市川 正	高橋吉太郎
11	上 越	943-0821	上越市土橋中島816-1 教育会館内	025-525-5535	小池 洋	松村 久夫
12	糸 魚 川	949-0301	糸魚川市須沢3549	025-562-3528	磯谷 正芳	野上 正和
13	村上岩船	958-0847	村上市大工町1-4 教職員組合会館内	0254-53-2292	滝沢 武司	山口又一郎
14	佐 渡	952-1313	佐渡市八幡町330-3 佐渡教育会館内	0259-57-2337	山岸 善晴	本間 一秀



支部からのたより



わたしの登山歴

新潟支部

副支部長

福地光正



「今年の夏はどここの山に登る。」「立山連峰縦走なんか良いかな」。わたし45歳の夏のことである。職場の両隣から頭越しに山登りの打ち合わせをしていた。もともと山好きだったので、ずうずうしく参加させてもらったのが、百名山踏破の

仕事で味わえる充実感

糸魚川支部

事務局部員

松田敬



定年退職して3年目、農業と兼業でパートの仕事に従事している。退職後しばらくは農業だけの生活だったが、一定の収入や社会との関わりを求めて、仕事を増やした。

新たな仕事に就くに当たり不安もあったが、徐々に解消している。時間をやり

きつけとなった。

それ以来、彼とは夏になると日本中を登り歩いた。北海道には新日本海フェリーで小樽港か苫小牧港に向かった。「利尻岳は島全体が一つの頂点に引きしぼられて天に向かっている」(深田久弥・日本百名山) ことが稚内からのフェリー船上でそれと見てとれた。屋久島へはこれまで行っても千円の高速度で鹿児島まで行き、1950円の格安で宮之浦岳に登ってきた。70歳の時、百名山最後の山「草津白根山」に登った。百名山に共に登った2人の山仲間、心から感謝している。

繰り返すことで生活にリズムが生まれ、時間を効率的に使うようになり、負担はさほど感じなくなった。何よりも、職場の温かな支えや家族の協力のお陰で続けることができている。

改めて分かったことは、どの仕事にもやり甲斐があり、喜びや充実感を持つることだ。私は仕事の中で、平常心による冷静な行動と、誠意ある対応を心掛けている。うまくいかないことや失敗もある。しかし、仕事に没頭しているとき、心地よい充実感に浸れる瞬間がある。私にとって掛け替えのない時間である。

柏崎を応援

柏刈支部

副支部長

遠藤美代志



新退教の役職以外にいくつかの団体に所属してボランティア活動しています。

まずは柏崎植物友の会。「柏崎を花いっぱい緑いっぱい」の街に！人と人との交流を広げよう！」と柏崎夢の森公園の整備、柏崎の花ヤマユリの補強・捕植、地域の皆さんの協力の下「柏崎・刈羽オーブンガーデン」の実施をお手伝いしています。

次に柏崎文化協会。柏崎の文化を広げようと活動しています。柏崎の芸能、芸術等の文化を市民に公開する市民文化祭の実施や市民文化誌「風のいろ」を発行しています。私は主に「風のいろ」に携わり、今年で16号になりました。その年に活躍した人物紹介や柏崎に伝わる文化・歴史・人物、市民文芸、昔話など約80ページの冊子にまとめています。柏崎がより元気になるよう応援していきます。



「30人以下学級実現・教職員定数増・教育予算増額を求める請願署名」 新退教は、今まで以上に力を入れて取り組もう！

—「子どもたち・現職教職員・未来」のために—

教育現場は大変な状況です。多忙で、教員不足で、複雑化・困難化する諸課題で…。心が痛みます。かつて教職員であった者として、今すぐできる学校ボランティア等とともに、より根本的な解決に向かう支援にも取り組む必要があります。(西欧並みの教育環境を！)

後者の一つが請願署名です。「教育をよくする新潟県民会議」(新教組はこの一角を担って毎年奮闘)は今年も署名に取り組み、11月下旬に県議会へ署名を提出し、12月議会での請願採択をめざしています。

少人数学級については、2021年3月の標準定数法改正(5年かけて小6まで35人学級にする)により、今年度は全国の小学校4年生まで35人学級となりました。新潟県においては、2015年度から小中学校35人以下学級が導入されていましたが、「下限25人」の条件設定がありました。今年度からは小学校全学年の「下限25人」の条件設定が撤廃され、私たちの願いに一步近づきました。これは「教育…県民会議」を含む県内各界各層の努力や運動による成果です。今後も引き続き30人以下学級の実現に向け、声をあげていかなければなりません。

子どもたちへの行き届いた教育と後輩現職のために、今年度も笑顔で署名に取り組みましょう。

- ◇署名用紙 新退教各支部を通して配付
- ◇提出先等 新退教各支部(メ切日は支部による)(→新退教本部へは11/11必着)
- ◇留意点 a 署名は県内在住者 b 住所欄の「ッ」「同上」は使用可
c 「署名用紙1枚に10筆」が原則だが、1～2筆でもOK。

新教組主催 退職教職員慰労激励会

4月22日(土)、新潟市の東映ホテルで、今年度退職の新教組組合員(50歳以上)慰労激励会が開催されました。何よりも、組合費を収めて長年に渡り新教組運動を支えた後輩たちに感謝です。今井淳執行委員長も「たたかひの積み重ねで私たちの勤務労働条件は向上・充実しました。現在の教育環境はみなさんの力なくしては語る事ができません。」と謝意を述べられました。(今年度は、50歳以上の退職組合員306人のうち46人が出席)

新退教を代表して、大坂和夫会長が激励と新退教紹介を行いました。(再任用者は新教組継続組合員となることできるし、退職しているので新退教会員にもなることもできる。双方のダブル加入が可) 一人でも多くの退職教職員から新退教に入ってもらえるよう、折に触れて働きかけましょう。



新退教50周年事業に向けて

50周年実行委員会は、9月25日「新退教結成50周年記念式典・祝賀会」の準備と、11月中旬の完成をめざして「50周年記念誌」作りに取り組んでいます。「記念誌」は支部を通じて全会員に配付されます(期日未定)。

「記念誌」の構成は、過去の「新退教通信」からのピックアップが半分近くを占め、「50年の歩み(年表)」「会員数の推移」「研修関係の歩み」「本部役員一覧」「支部役員一覧」と続き、かたぐるしい資料とならないよう「分かりやすく」を心がけているとのこと。

教職員共済【交通災害共済】

自転車保険として最適です。1億円の個人賠償と交通事故を含めた日常のケガでの死亡・入院・通院・手術等の補償があります。掛金は個人型3口で年5320円。個人型5口・10口や家族型もあります。資料請求はこちらから↓



みんなの広場

究極の選択⑦

山上オクラ

十日町市松代（竹所）地区に移住したカール・ベンクスさんと地域の人々の暮らしが時々テレビ放映される。実に心地よい。地方の過疎化と都市の一極集中は、日本の人口分布をますます歪にしていく。そこに南海トラフを震源とする大地震が来たらと考えると、ふと思ったことがある。

都市の便利は危険と、地方の不便は心地よさとセットなのかもしれない。どちらを選ぶかは究極の選択である。

我が人生はバイクとともに②

今井 真悟

冬の間、車庫の中で冬眠していたバイクを目覚めさせるために、必ず行う「儀式」がある。それは、①バッテリーの充電 ②キャブのガソリンを抜く ③プラグの清掃。この3点を確実にを行うことで機嫌よく目覚めてくれる。

る。当然、タンクやシートなどは外して作業する。業者に任せずに自分でやることも楽しみの一つだ。3月下旬、今年も元気に目覚めた愛車は、私を楽しい旅に誘ってくれるはずだ。いよいよバイクシーズンだ。



織機との出会い①

佐久間節子

地域の公民館活動で裂織に出会いました。縦糸に横糸を交互にすっていくだけで布が織れることに興味を持ちました。そのため織機を購入することです。しかし、当時は高額。

そこで、使わなくなった二段ベットの木材を利用し、主人が作ってくれることになりました。糸を巻き取る所は菓子器の器、子ども用自転車の補助タイヤ。なんと見てくれの悪さ。主人には「だまされたと思って使うように」と促されました。



【二情報】

◇会員夫妻の「ぎやらりー浜つばき」(☎0256-77-2013 土日月開館)、7/22〜8/7 鈴木晃版画展、8/19〜9/4 渡辺欣次

白寿記念木版画展、9/9〜10/2 吉田志麻版画展、10/7〜23 尾身伝吉木版画展、11/4〜27 下田の森美術館リース展、12/2〜18 ねんど母さん縁起人形展

*ユニバーサル・ホスピスマインドのちの限られた人と向き合う中で育まれ、死や病気という解決困難な苦しみを抱えていても穏やかにいられるために必要なエッセンス。誰もが、大切な人や自分の心をケアできるよう2022年春に提唱された。

□2023.3.20 経団連の十倉雅和会長は、自民党内で意見が割れる「LGBT理解増進法案」の議論について、欧米と比べての遅れを「恥ずかしい」と語った。

□投票率低下（大問題…）の統一地方選であったが、女性当選者は増加した。（女性区長3人、宝塚市など女性議員が男性議員を上回った議会、男女同数議会が複数、など）

【あしがき】

プーチン政権によるウクライナ侵略から1年余り。影響は甚大で世界が一変した。日本では、岸田政権は政権維持のために安倍政権以上に従米タカ派路線に傾斜。一部野党も与党寄りに。いつか来た道に似てないか？ 危機が一段と進行していかないか？ 平和と戦争は紙一重。危機意識を高めたい。一歩踏み出し、声を挙げたい。知恵を絞りたい。平和で安全な社会であるために。(山岸)

